

# 篠山の古民家ホテルに

## 特区活用 但馬銀・ファンド投融資

古民家再生を手掛ける一般社団法人ノオト(兵庫県篠山市)は8日、篠山市の古民家を宿泊施設として再生する事業概要を発表した。国家戦略特別区の認定により旅館業法が定めるチェックイン時の対面受け付けが免除される。資金は官民ファンドと但馬銀行から投融資を受ける。

篠山城の城下町にある築100年超の空き家4棟を改修。インバウンド

「訪日外国人」向けも意識して建物の歴史を感じさせる高級ホテルに再生し、10月をめどに開業する。特区による規制緩和で各棟へのフロント設置が不要になるため、1棟にフロント機能を集約し運営の負担軽減につなげる。運営は婚礼事業を手がけるパリューマネジメント(大阪市)が担う。資金面は、ノオトが事業展開のために設立した特定目的会社(SPC)

に対し、日本政策投資銀行と地域経済活性化支援機構、投資会社リサ・パートナースが共同で組成した「観光活性化マザー」

「地方の空き家を地域再生に活用する。さらに加速させたい」と強調。東京五輪が開かれる2020年に向け、篠山市内で10棟30室の開設を目指す考えを示した。

「訪日外国人」向けも意識して建物の歴史を感じさせる高級ホテルに再生し、10月をめどに開業する。特区による規制緩和で各棟へのフロント設置が不要になるため、1棟にフロント機能を集約し運営の負担軽減につなげる。運営は婚礼事業を手がけるパリューマネジメント(大阪市)が担う。資金面は、ノオトが事業展開のために設立した特定目的会社(SPC)